希望の鐘

宇部市立見初小学校
令和３年１０月２５日

児童数
１００人
(10/25現在)

＜学校教育目標＞
さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

心に響く体験を通じて

校　長　　藤田　康伸

コロナウイルス感染症防止については予断を許さない状況ではありますが、１０月には、体育学習発表会をはじめ、避難訓練、見初まつり、社会見学等、多くの行事が行われました。ご参観ありがとうございました。

こうした見る、聞く、触れる等の五感を使った、**自然や人と触れ合う直接的な体験活動は、子どもたちのよりよい成長には欠かせないもの**です。特に近年の情報化社会の中で、居ながらにして世界の情報が手に入り、コンピュータによるシミュレーション的な疑似体験等が増加している社会において、**直接的な体験活動とのバランスが重要視**されています。

体育学習発表会では文字通り体を動かして、友達と協力しながら、競技や表現を行いました。５・６年生の全員リレーでは、どんなに差がついても最後まであきらめない姿を見ることができました。また、明確な係ではありませんでしたが、学年の道具を出し入れしたり、スタートやゴールの手伝いをしたりする６年生の姿は、最上級生として大変立派なものでした。

見初まつりでは、自分たちで考えた「ふわふわ言葉を使って笑顔あふれる楽しい見初まつりにしよう」のスローガンのもと、安心安全な楽しい企画を考えました。今年度はSDGｓの様々な項目からテーマを選び、改めて社会の直面する喫緊の課題にも目を向けることができました。１年生は魚釣り風ゲームの中で、釣れたものを分別するゲームをしていました。釣る楽しさに加え、リサイクルやリユース等の考えを学ぶきっかけになってくれることを願っています。**こうした幼いころからの体験の積み重ねは、成長とともに生きてくる**と考えています。

学校では、一人一台端末が配付され、ICTの活用が進む新時代を感じさせる教育課程ではありますが、これまでの体験的な活動とのバランスを大事に、学校運営協議会等でも熟議を進めながら、**行事や活動の意義をきちんと精査し、子どもたちの心に響く体験活動**に取り組んでまいりたいと考えております。

１０月２日　体育学習発表会
協力・本気　見初パワー

１０月５日　地域合同避難訓練
自分の命は自分で守る

１０月１２日　見初まつり
SDGｓをテーマに